

科目名	心理学 Psychology		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	atsushi.koike@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
											オープンクラス	可
科目 目的	心理学は心と行動の諸側面を研究対象としている学問です。この授業では、心理学研究の成果に基づいて、①個体としての人間の心的機能、②心と身体の関係、さらに③他者との関わりという3つの視点から、人間への理解を深めます。その上で、④看護を中心とする医療・福祉の分野にとって求められる人間理解と心理的側面への援助方法について学びます。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
	関連する DP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 心を理解するためのさまざまなアプローチの方法について知る。 機能としての心の働きについて知る。 心と脳や身体との関係について理解する。 他者との関わりの中で生じる心理について理解する。 さまざまな心理的援助方法について知る。 看護職者として患者の心を理解するための関わりについて考えられるようになる。 											
成績評価方法 (基準)	期末試験 (100%)											
再試験の有無と 基準等	科目可否結果で不合格となった者のうち期末試験で不合格となった者に対しては再試験を実施する。再試験は期末試験と同様に行う。											
教科書	山村豊・高橋一公著「系統看護学講座・基礎分野 心理学」医学書院											
参考書等	必要に応じて適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	「こころ」は最も身近でありながら、不可思議なものです。日々の生活の中で、まずはじっくりと自分自身を眺め、次に友人・家族など周囲の人々を見渡し、社会との繋がりを考えることが、心理学の学習にとって大切です。さまざまな人間観や価値観に触れながら、自らの視野を広げていけるように、積極的に関心をもって授業に臨んで下さい。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	イントロダクション		看護学と心理学の関係テーマとして、看護を学ぶ者が心理学を学ぶことの意義について考える。					小池	講義			
2回	心理学の歴史と研究方法		過去から今日に至るまで、心理学研究がどのようになされてきたか学ぶ。さらに、代表的な心理学研究方法としての実験法、質問紙法、観察法、面接法について理解する。					小池	講義			
3回	感覚・知覚・認知		外的世界である環境から、どのように情報を受け取り、認識するのか、感覚器官の性質、知覚の特性、認知のメカニズムについて学ぶ。					小池	講義			
4回	本能行動と学習		行動に焦点を当て、本能行動、初期経験、条件づけ、社会的学習など、行動が生じる原理について学ぶ。					小池	講義			
5回	記憶		経験を蓄える働きとして、記憶過程、記憶の種類、記憶障害などについて学ぶ。					小池	講義			
6回	言語・思考・知能		心を形作る基本的な側面としての言語、思考、知能について理解を深めるため、単語認知、文章理解、問題解決、推論などについて学ぶ。					小池	講義			
7回	感情と動機づけ		感情の種類、情動生起のメカニズム、動機の種類、コンフリクトなど、心の反応ともいえる情動と動機づけについて学ぶ。					小池	講義			
8回	パーソナリティ		類型論、特性論などのパーソナリティ理論、パーソナリティ形成に関わる要因、人格障害などについて学ぶ。					小池	講義			
9回	脳と心の関係		失語症、失行症、失認症など脳の損傷によって生じる障害から、脳と心の関係について理解を深める。					小池	講義			
10回	ストレス反応と対処行動		ストレスの種類、ストレスに対する生体の反応、対処行動など、ストレス事態における生体の反応について学ぶ。					小池	講義			
11回	社会的認知と態度		他者との関わりの基本となる、対人認知、対人魅力、態度などについて学ぶ。					小池	講義			
12回	社会的相互作用と集合現象		集団における心理として、社会的促進と抑制、同調行動、集団心理などについて学ぶ。					小池	講義			
13回	患者と医療者の心理		病気の種類とそれに対応した心理、患者と関わる医療者の心理について学ぶ。					小池	講義			
14回	心理アセスメント		心理アセスメントの方法として、知能、人格などの評価方法の理論と具体的な方法について理解を深める。					小池	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
15回	心理援助方法	来談者中心療法、認知行動療法など、さまざまな心理援助方法について理論的背景と具体的な方法を学ぶ。	小池	講義

学 習 課 題

- 第3回課題（事後）：ICU症候群について調べまとめておく。
第5回課題（事後）：高次脳機能障害患者への看護ケアについてまとめておく。
第8回課題（事前）：パーソナリティ障害について調べておく。
第10回課題（事後）：看護職者のバーンアウトについてまとめておく。
第15回課題（事後）：看護職が活用している心理援助法についてまとめておく。

実務経験を活かした教育の取組